令和４年度第２回 蓮田市総合文化会館運営協議会 議事録

開催日時	令和５年３月３０日（木）午後６時３０分～午後７時４４分
開催場所	ハストピア　多目的ルーム
記　録　者	今井　由美子
出　席　者	会　　長　関口　茂 副 会 長　山田　正恵 委　　員　渡邉　陽子 委　　員　江角　時子 委　　員　田口　陽一 委　　員　加藤　博 委　　員　関根　正昌 委　　員　髙田　康二 事務局　山口　京子　市長 西山　通夫　教育長 小宮　雪晴　生涯学習部長 文化スポーツ課　課　長　小野寺　潤 副主幹　山口　昌昭 主　査　今井　由美子
	資料の確認 ＞次第 ＞資料１　令和４年度稼働率（集計） ＞資料２　令和４年度使用料 ＞資料３　稼働率（平成28年度～令和４年２月分）他 ＞資料４　令和４年度ハストピア事業実施状況 ＞資料５　令和４年度ストリートピアノ実施状況 ＞資料６　令和５年度ハストピア事業計画（案） ＞資料７　ハストピア自主事業「ストリートピアノキッズ」 ＞別紙　ハストピアピアノDAY特別公演「キャッツミニコンサート」チラシ ・令和４年度第１回蓮田市総合文化会館運営協議会　議事録 〈当日配布資料〉 ・蓮田市総合文化会館運営協議会委員名簿 ・蓮田市総合文化会館運営協議会設置要綱 １.開会 ２.会長あいさつ ３.市長あいさつ ４．議事 （事務局） （１）令和４年度事業実施状況　説明

	（委員）　県外から多く来客が来るイベントでの駅からバスに乗り切れないとかそういうトラブルは特になかったか。 （事務局）県外から来られた方が蓮田駅からバスに乗って来られる方が結構いらっしゃる、通常ですと朝日バスにお願いして増便していただいている。通常便の他に、大体その時間に帰られるだろうという方がいらっしゃる、２本増便をさせていただいている。よみぃさんのコンサートの時に帰りのバスに乗り切れなかったという方がいらしたのも事実です。そういった方に改めて、今度全国から集まるものについてはもう少し増便をしていただけるかどうか、今、交渉させていただいている。 （委員）　ストリートピアノの参加者への宣伝で何かやっていることはあるか。 （事務局）ストリートピアノについては、先ほど事務局から説明させていただいたが、大体月２回、やらせていただいている。翌月の予定が出るタイミングで、ホームページとＳＮＳということで、ハストピアとパルシーの公式ツイッター、公式インスタグラムの方で随時お流しさせていただいている。最近は、インスタグラムの方はおかげさまで少しフォロワーの方が増えまして、300 人程度ようやく増えてきまして１回流すと皆さん結構、反応していただくというのが最近の傾向でございます。 （委員）　蓮田市のピアノ教室とか、そういうところにイベントのお知らせをしたりということは特に考えていないか。 （事務局）そこまで視点が我々の方で足りなかった部分も、まだ、行き届いていない部分もあるのですが、委員がおっしゃるように、なるべく多くの方に来ていただきたい、特にお子さんに参加してもらえるととても盛り上がるといいますか、そういうこともありますので、色んな手段を使ってＰＲに努めていきたい。 （委員）　今回の資料で、本当にコロナ前よりもギャラリー、多目的ルーム、創作ルームもコロナ前よりも稼働率が上がっていると思ってすごくいいと思ったのですが、どきどきホールの平日の使用、稼働率がホームページの申込みのところを見ると平日が結構空いていると思うのですが、その平日の稼働率を上げるために何か取り組んでいること、他市のイベント情報を調べるなど、参考にしていることがありましたら教えてください。 （事務局）今の全体の稼働率ですが、令和４年度はワクチン接種をした関係があり、それでここの部屋を全部ワクチン接種の期間抑えて使ったりしているので若干使用料が伸びているというか、からくりはある。それを加味しても、おかげさまで利用の方はだいぶ増えまして、今までは創作ルーム、結構あまり使う方がいなかっが、最近はお花関係、パソコン教室をやっていただいたり、色々なことで使っていただいているので非常に利用頻度が上がっている。ホールについてはなかなか申し上げにくいが、平日の利用は課題で、これからまた、来年度取り組んでいきたいと思うが、どうしても平日の利用については人が少ないので、できれば録音関係とかそういったことにホールを使っていただけると、ただＣＤを作ったりするのに録音だと、裏に新幹線が通っていて本当に小さい音も拾ってしまうとまずいという方も、中にはホールの中でやっていてもいらっしゃるようですが、そういったこともＰＲをしていきたいというふうに思っている。また、お休みの期間、夏休み、長期のお休みの期間にお子さんに特に利用していただいたり、あとは高校生、大学生そういった方々のクラブ組織、そういったところにもＰＲができるとよりこれから平日の利用が上がっていくのかと、大人はなかなか難しいでが子どもの利用は伸びていくというふうには考え

	ている。 （委員）　例えば、幼稚園、保育園でお遊戯会とか発表会とかに使ってもらったら平日も使えるのかと思いました。小中学校でも気軽に使えるように声をかけてみたり中学校では吹奏楽部の定期演奏会で利用してもらえるようにこちらから働きかけてぜひ利用してくださいということをアピールしてはどうか。 （事務局）その辺についても、やはり利用率を上げていくということが課題だと思っているので、さらにPRをしていくような形で考えていきたい。ただ、やはり利用料金の関係があって、なかなか全員が全員、減免で使えるかというとそういうわけでもないので、その辺の料金や取り扱いについても追々になってくるが、なるべく色々な例えば中学校の部活動の方が利用していただきやすい、お子さんが利用していただきやすい、そういったことも条例の中でうたっている部分もありますので、積極的にPRをしてご利用いただけるように努めていきたい。 （会長）　今までの色んな催し物の中に無かったストリートピアノ、外でやるのもありましたが、そういう発想というか新しい試みは今までの流れを変える進展するそういうきっかけになってくる。新たなそういうジャンル、世界を開拓していっているところだと様子を見ている。平日をどうするのかというのは難しいところだが、いいアイデアを練っていただければと思う。ハストピアフェスティバルが1月14・15日に、その時に色々なものが、みやけんさんもきてくれたということもあるけど、一番の山場という感じがしました。お客さんがぞろぞろと来てくれまして私も必死に子供の絵を飾る担当だったもので、借りたり今井さんにも一生懸命手伝ってもらって飾ったりずいぶん大変でしたけれどもよかったなと思います。これをきっかけにもっともっといつもはこの次はどういうことをやるというのが定着してくれば人も来やすくなるのか、集まりやすくなるのかと思う。 （委員）　市民参加型のイベントを増やしたらどうかと思う。そろそろコロナも収まってきてみんながこう出てきやすい時になってきたので、例えば、年末に第九を歌おうとか、4回ぐらい講師の先生に来てもらって練習してからステージの上で蓮田市民が、他市でも良いですがご一緒して歌うとか、市民の人が参加できるそういうイベントを少しずつ増やしたらどうかと思う。 （事務局）まず一つですが、ハストピアフェスティバルはまさに、この館を知っていただくという意味では非常に有意義なイベントだと考えている。色んな動機があると思うが、今回はお子さんに駄菓子コーナーみたいなのを作って大盛況で本当は2日分色々なそういう景品をそろえていたのですが、1日で全部無くなってしまうという状況でした。若干その内容については精査をする必要があるのかと思っている。その辺も含めてまた4月以降にサポーターズの皆様からご意見をいただきながらサポーターズの純粋な企画として、来年度どうするのか、考え方を改めて考え直しつつ継続していけるといいと思っている。もう一つは11月にやりました、東京混声合唱団ですが、実は公演をいただいた時に、もちろんみなさん料金を払って来ていただくのですが、通常この混声合唱団をやる時には、会場に入られた方と一緒に歌を歌ったりというようなイベントになるようです。ただ、コロナ禍ということで、それが今回実現しなかったのですが、次回やる時はぜひ皆さんと一緒に楽曲を歌ったりと、そういうこともコンサートの中でやってますので、ぜひ、リクエストしてくださいというお話でした。また、次年度以降、

	この後説明をしますが、皆さんが参加しやすいようなイベントも引き続き考えていきたい。市民音楽劇ということで、「黒浜沼の河童」も、これも市民参加型のイベントとしてやっていきましょうということで次年度企画している。そういったところで市民の方が参加しやすいようなイベントも少しずつ取り入れていきたいと思っている。 （委員）　去年、「サニーアンデス」を呼んで、企画する側になった時にスタジオ1の広さが中途半端だと思いました。どきどきホールを借りるとお金も高いし広すぎるしそぐわないと、いきいきフェスティバルにも参加させていただいたが、お客さんが多くて中がいっぱいで、もったいないお客様あんなに入るんだったら本当にどきどきホールでもよいのではないか。600人も入るようなところで、200人だったらそれはそれでさびしいが、その辺の人数と値段が、100人とか200人ぐらいがさっと入れるような場所っていうのはどきどきホールの一角でも作れないですか。その時だけ半分しか使用しなくて実際に参加してみたらその観客数と広さっていうのと、それから足の問題と、それから広告の問題と、そういうのがまだ残っている。 （事務局）私が説明するより会長さんから説明していただいた方がいいと思うが、フェスティバルの中で、多分、会長さんのところのイベントが一番人数がいっぱい入ってぎゅうぎゅうだったという印象がある。イベントについてはその後の反省会でも出ましたが、子供たちの演奏はホールでやってもいいぐらいの人が入ってましたという反省でした。 （会長）　なかなか難しいが、今でもどっちにしようかと思っているが、どきどきホールにどうぞだったらもっと少なくなる、この数は少なく書いてありますが、実は入れなくって戻ってしまったというのが結構あったという話を聞いている。確かに、もう少し使い方を考えた方が良かったと思うが、というのは、演奏する場所の裏の周りに色々なものが置いてあり広さが取れなかったというのがある。前もってどこかに移動しておけば、もう少し入ったのかもしれない。ホールほどの人数はないと思うが、屋外というのもあるかもしれないが1月なので、色々悩む。 （委員）　平日限定でどきどきホールをハーフ貸しのようなもの、席の真ん中辺でパーテーションを立てて、最大収容人数が600であれば300で、料金は6割くらいの料金にして、平日限定ハーフ貸しでやってみるのもいいのではないか。 （事務局）今のご意見ですが、前にもお話しさせてもらったが、平日割、もしくは直前割、旅行ではないが、例えばホテルの部屋が安くなったりというのがあると思うのが、そういう部分を採用している市、町もありまして、料金に関しては大変申し訳ないんですけどやはり条例で決まっているものでして。 （事務局）半額でいいですというのはなかなかその場では言いづらい。もしそれをやるのだとすれば条例を改正して、市が決めることなのでやろうと思えば当然、ハーフ貸しもできますし、先ほど申し上げた直前割、子供割、平日割だったり、その割増料金を取るのではなく通常のベース料金があってそれを割引するという、改めて委員の皆様からご意見をいただきたい、私共の方でもその部分については検討の余地はかなりあると思っている。 （委員）　考え方があっているかどうかわからないが、たくさんお客様が来られてて、やはり市内の市民の方に来ていただきたいか、その辺りの考え方がわからない、例えば、五条院さんのコンサート、603人だが、この

	中の市内の方って何人くらいいたのか。そういうのは把握できるものか。 （事務局）市内の方が何人かというのは実際にチケットを買った方が市内の方かどうかわからない。仮に窓口に来られた方に一人ずつ市民かどうか、面前で会ったとしてもお伺いは出来かねる。また、チケットをイープラスへ、インターネット販売にまわしているが、やはり市内か市外かというのはわからない。少なくとも遠い方が蓮田までチケットを買いに来るのは非常に難しいと思うので、最初に窓口で優先、近くに住んでいる方が買いやすいよう先行販売期間を設けてやっている。蓮田の名前を知っていただくのも必要だと思いインターネット販売をしているが、1週間後位に新たにネット販売で全国の方に買っていただく形で、若干の時間差を設けて販売はしている。もう一つ、市内の人に来てもらいたいのか、市外の方かというのは私共からすると両方の方に来ていただきたいと思っている。もちろん、市民の方がすばらしい音楽を聞いていただくのがまず第一だが、それ以外にも、先ほど市長から話がありましたが、蓮田を検索して蓮田市を知っていただいたり、蓮田市に来てもらって、いろんなところにお金を落としていただいたり、どちらかに偏ることなく両面から蓮田のハストピアを知っていただいて来ていただくのを目的にしている。 （委員）　要はコンサートを知るタイミングが市内の方と市外の方とタイムラグがあるのでどちらか言うと市民の方々が優遇ではないですが、状況にあるということですか。チケットを買う、それは安心する。多分よみぃさんとか、聞きたい人がたくさんいると、やはり自分の住んでいる町にある会館であれば優遇してほしい。私が市民だったら、そういう差をつけられているのであれば納得する。 （2）令和5年度事業計画（案）について説明 ハストピア自主事業「ストリートピアノキッズ」説明 （会長）　この一番後についているカラーのチラシは、実際にやったものか。どんな様子だったのか、簡単に説明をお願いしたい。 （事務局）こちらは、「キャッツのミニコンサート」ということで、開催させていただいた。3月11日とても天気のいい日で、ハストピアにはピアノが電子ピアノも含めて3つあり、その3台のピアノを使って全館での自主事業ということで、それぞれホール、ホワイエ部分、外のミニコンサートができる広場でそちらにピアノを出して、ホールは予約ですが、それ以外は自由に弾いていただけるというイベントを開催しました。ハストピアを利用いただいているお子さんたちがいらっしゃるが、主に小学生の方にお声がけをさせていただいて、せっかくなので人が集まるところでコンサートをやってみませんかということで、子供ですが腕はプロ級で、実際にホールなどで料金を取っているようなとても上手な子達に来ていただいて、外に椅子を出しまして、70、80名くらいの方が見に来ていただきまして、曲もかなりの曲数を弾いて演奏していただいてとても盛況なイベントでした。引き続きお子さんに主眼を置いたようなイベント、そういったものも企画していきたいと思っている。 （会長）　斬新なアイデアだと思いますが、先ほどの対象になった地域の方々か。 （事務局）この中のピアノを弾いているお子さんが小学校6年生、今年の4月から中学校1年生になるが、その方がこの近所に住んでいて蓮田で生ま

	れ、その他の方は千葉からとそういった皆さんで、「キャッツ」というグループを作って、その子が中心となってグループのメンバーを集めて公演をしていただいた。この方以外は県外の方である。 （会長）　課題というか今後、継続発展するためにはそういう人材発掘が課題になると思うが、そうちゃんという子と、どういうわけで見つかったかわからないが、そうちゃん以外にも今後可能性があると見込んでいるわけですか。 （事務局）今のそうちゃんですが、実は私共がストリートピアノ事業を昨年の3月に始めて、その時に初めてこちらの館にたまたまお父さんと2人で来ていて、全く知らなかったが、ストリートピアノをやったらとても上手な子が来ているということで、こちらでスカウトして、うちの館でストリートピアノをやっているのでぜひ来てくださいとお声掛けをさせていただいた。その後、色々なプロダクションから声がかかって、今は都内でも2,000円だったか、それぐらいのチケット料金を取ってコンサートを自分でやるような子に育ててもらっている。でもやはり地元はこちらなので地元にも恩返しをしたいということでご協力をいただいている。その輪を広げるということで、ストリートピアノキッズ事業というのをやってみて、なかなか蓮田の方に当然小学生でもすばらしい才能を持った方というのはいらっしゃると思うのでその方を優先していきたいが、地域をあまりにも限定してしまいますとなかなか難しい部分もあるので、最終的にはコラボレーションして、みんなで翌年になると思うがコンサートをやりたいと思っている。ある程度、このハストピア近隣の地域の子たちの中で数名を集めてそういう事業を進めていきたい。ジェイコムさんにも実はお話をさせていただいて、その事業を取り上げていただくということで、5月にプロデューサーの根岸さんにお話をいただき、その事業についてニュースで取り上げていただいて、継続的にその子供たちがどうやって育成されていくのかドキュメントで追っかけていきたいみたいな話はいただいている。続けてやっていきたい。 （会長）　私は資料を見てこういうのをやったのかというのがわかったのが、こういうのがあるという広報は市民に対して考えているか。 （事務局）ホームページ、先ほどのＳＮＳで流しているが、まだ足りていないと、それと、やはりよく思い付きでといわれるのが、なかなか思いつくタイミングが遅かったりして周知が行き届かない、そういうのもあり、一回これで1年間やってみて何かレールにうまく載せて、早めに色々なところに周知をしていけるように心がけていきたい。内部からも言われているので、早めに周知できるようにしていきたい。また、ジェイコムさんにもぜひ協力をお願いしたい。 （会長）　周知されていけば、僕も出てみたいとか出てくると思うので、こういうことがあるということが伝わるように工夫していただきたい。 「黒浜沼の河童」の話がでていたが、ご存じの方も多いと思うが、今回2度目です。10年前に1回やったが、ハストピアから50周年の記念事業ということでやらせていただくことになった。私共、黒浜沼の河童は前にもやって出演させていただいた。私も関わって、今度は、指揮者ということになり楽譜を預かっている。今、あちこちめくりながらどうやろうと考えている。この公演が充実したものになるように頑張っていきたい。ぜひ皆さんのご協力をお願いしたい。 （副会長）具体的に今、出していただいているもの、令和5年度はやや子ども達にシフトしているというニュアンスが強い事業計画で、これも新しい

	段階に入るという感じを受けている。特に 5 月 28 日ガチャピン・ムック、2 月 10 日ケロポンズこのあたりでどんな年代層で、どんな親子さんで、そういったホールの（私はホール運営をやらせていただいているが）親子で一緒のコンサート等がなかなか皆経験がないので、非常に楽しみではあるが、ホール運営のほうとすると新しくまた、少し対応が変わってくるのかと、新しいこれもチャレンジかと、楽しみにしている。 （会長）　未知の世界というか、そういうところがあるから、結構大変かもしれない。 （副会長）広報が大事かと、誰もが SNS 等を見ているわけではないので、それこそ先ほどの保育園、幼稚園、そういったところへの宣伝活動、PTA 会とかいらしているのでその辺りで話題にしていただけるのであれば。 （委員）　資料をいただければ PTA 全体に回すこともできる。 （副会長）やるからには来ていただきたい、子供たちにぜひここを知ってほしい、それは夢でもある。 （会長）　広報はやはりそういう意味から言っても、早め早めにお伝えする、こういうのがあると。半年もあれば、日程調整したりできる。 （事務局）今の件は、実は、ガチャピン・ムックとケロポンズについては、第 1 回目の運営協議会の中で委員の皆様からお子さん向けのイベントが少ないとご指摘をいただいたところである。遅ればせながら、今年度事業計画をさせていただいている。今、ポスターがちょうど外に貼ってあるが、出来上がりチラシの方もある程度の部数はあるので、先ほど、SNS でどれだけ見ているのかというのもあるので、これから、各学校、所要なお子さんが目に付くような場所、誰も取らないところに置いてもしょうがないので、配ろうと思っている。公共施設に割り当てで配っていたが、なかなか見ないというのがあるので直接、ダイレクトに皆さんにメッセージをお届けできるよう配布先を検討して、PTA の方にもご協力をいただきお子さんに行き届くような形をとりたい。実験ものなので、どの程度理解できるか、該当する年代としては小学生の子が多いらしいが、見たときに、ただ、ガチャピン・ムックが出ているというだけでかなり人気は出るようなので、実際、音声も生声で、直接来ていただくことになったので、テレビで見ているガチャピン・ムックの声がそのままホールで聞けるという、普通は声をあてるだけだが、その方が空いている時に公演を入れてもらいましたので、そういうのも子供達には少し人気になるかと思っている。PR の仕方はまた工夫してまいりたい。 （会長）　令和５年度の事業計画はこの他に細かいのがあると思うが、主だったもので、それぞれが充実したものになるように期待したい。 （事務局）その他　「サポーターズ募集に関して」説明 次回の会議開催等について ５．閉会